

## 療養病棟で提供されている医療の質に関する状況

- 「治療・ケアの内容の評価表」 (Quality Indicator, QI) の算出

## ○Q I (Quality Indicator) の算出

※平成18・20年度の患者特性調査に参加した25病院のうち、今回の横断調査についても参加のあった20病院のデータを算出

### 1. 平成22年度横断調査

Q I 項目	横断調査患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	13病院	610人	12.3%	14.0%	0.0%	38.0%	0.0%	23.8%	40.3%	0病院	0.0%
留置カテーテル	20病院	771人	13.4%	11.0%	0.0%	37.1%	5.2%	21.8%	35.4%	1病院	5.0%
尿路感染症	20病院	771人	6.0%	9.1%	0.0%	40.0%	0.0%	9.0%	24.2%	1病院	5.0%
褥瘡	20病院	771人	5.2%	5.3%	0.0%	20.0%	0.0%	8.8%	15.7%	1病院	5.0%

### 2. 平成20年度調査

Q I 項目	平成20年度患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	13病院	1,387人	17.3%	21.3%	0.0%	80.0%	6.1%	24.0%	59.9%	1病院	7.7%
留置カテーテル	20病院	1,832人	14.7%	9.7%	3.7%	35.3%	7.2%	20.0%	34.1%	2病院	10.0%
尿路感染症	20病院	1,832人	13.4%	15.3%	0.0%	60.3%	2.8%	16.9%	43.9%	1病院	5.0%
褥瘡	20病院	1,832人	9.8%	4.8%	1.4%	22.4%	7.1%	12.7%	19.5%	1病院	5.0%

### 3. 平成18年度調査

Q I 項目	平成18年度患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	13病院	1,693人	17.6%	25.4%	0.0%	82.4%	1.0%	18.8%	68.4%	1病院	7.7%
留置カテーテル	20病院	2,057人	12.0%	7.9%	0.0%	27.4%	6.4%	17.1%	27.9%	0病院	0.0%
尿路感染症	20病院	2,057人	7.8%	6.4%	0.0%	20.8%	3.7%	11.3%	20.7%	1病院	5.0%
褥瘡	20病院	2,057人	10.8%	5.7%	3.2%	20.8%	6.4%	17.0%	22.2%	0病院	0.0%

注1) 身体拘束については、今回の横断調査では「医療区分・ADL区分に係る調査票」から算出しているため、対象が13病院となっている。□

注2) 今回の横断調査と平成18・20年度調査とは、調査方法やQ I の定義に一部違いがあるため、単純比較はできないことに留意が必要。

【Q I の定義】

Q I 項目	分子	分母
身体抑制	<p>毎日身体抑制している患者            ※「身体抑制」は下記のいずれかの行為を一つでも行った場合に該当する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四肢、体幹部の抑制</li> <li>・ベッドを柵（サイドレール）で囲む</li> <li>・介護衣（つなぎ服）の着用</li> <li>・車いすや椅子から立ち上がれないようにする</li> <li>・ミトンの着用（手指の機能抑制）                （平成18・20年度調査では対象外）</li> <li>・自分の意志で開けることのできない居室等への隔離                （平成18・20年度調査では対象外）</li> </ul>	全患者
留置カテーテル	膀胱カテーテルを留置、または導尿の処置をしている患者	全患者
尿路感染症	尿路感染症の治療を実施している患者	全患者
褥瘡	<p>第2度以上または2カ所以上の褥瘡があり、褥瘡の治療を実施している患者            ※「第2度」の褥瘡：皮膚の部分的喪失；びらん、ただれ、水疱、浅いくぼみとして現れる場合</p>	全患者